

【技術分類】 2 - 1 - 1 編物 / 手編 / かぎ針編

【技術名称】 2 - 1 - 1 - 1 鎖編

【技術内容】

かぎ針編は引き出したループを1目ずつ編成しながら編み進んで編地を形成する。編地は棒針編に比べて、組織も隙間が多く、厚手で伸縮性はやや小さい。かぎ針編の基本となる編み方には、鎖編、長編、こま編、中長編、引き上げ編がある。

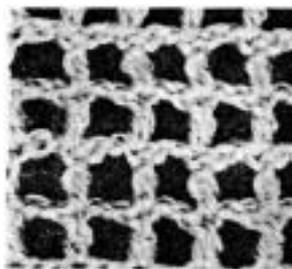
鎖編は編地の基礎の編目となるほか、立ち上がり目として、編目の基準としたり、透かし模様の構成に長編やこま編と組み合わせる。

鎖編の単独の編地はないが、その編地は長編との組み合わせによる格子編(図1)、こま編との組み合わせのネット編(図2)となる。

鎖編の編み方を図で説明する。人差指にかけた糸を図3のようにすくい上げ、矢印の方向へ針先を回して輪を作り、交差位置を中指と親指でもちかえ、図4のように押さえる。かぎに糸をかけ矢印の方向へ引き出し、その目を引きしめて図5のように編んで鎖目とする。図6に示すように立ち上がり目1から、矢印のように針を動かしてループを作る。2つ目の鎖目からループを引き出し、かぎに糸をかけて2つのループを一度に引く(図7)。次の目にかぎを入れて、同様に編む(図8)。1段の編み終わりに、立ち上がり目1して、編む方向を変える(図9)。

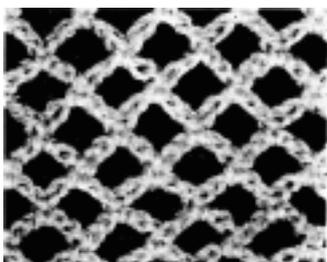
【図】

図1 鎖編の編地(格子編;長編との組み合わせ)



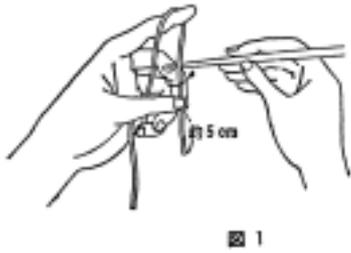
出典:「改訂手芸」、1967年3月1日、添田静枝、山村あい子、大塚寿子、岡野都、市嶋千枝子、黒滝直子、原京子、亀岡末子、多田鶴代、小木曾元子、生田光子著、株式会社建帛社発行、22頁 写真1

図2 鎖編の編地(ネット編;こま編との組み合わせ)



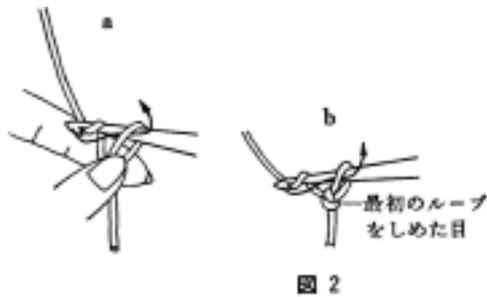
出典:「改訂手芸」、1967年3月1日、添田静枝、山村あい子、大塚寿子、岡野都、市嶋千枝子、黒滝直子、原京子、亀岡末子、多田鶴代、小木曾元子、生田光子著、株式会社建帛社発行、23頁 写真4 編み地

図3 鎖編手順1



出典：「改訂手芸」、1967年3月1日、添田静枝、山村あい子、大塚寿子、岡野都、市嶋千枝子、黒滝直子、原京子、亀岡末子、多田鶴代、小木曾元子、生田光子著、株式会社建帛社発行、14頁 図1

図4 鎖編手順2



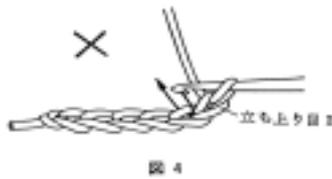
出典：「改訂手芸」、1967年3月1日、添田静枝、山村あい子、大塚寿子、岡野都、市嶋千枝子、黒滝直子、原京子、亀岡末子、多田鶴代、小木曾元子、生田光子著、株式会社建帛社発行、14頁 図2

図5 鎖編手順3



出典：「改訂手芸」、1967年3月1日、添田静枝、山村あい子、大塚寿子、岡野都、市嶋千枝子、黒滝直子、原京子、亀岡末子、多田鶴代、小木曾元子、生田光子著、株式会社建帛社発行、14頁 図3

図6 鎖編手順4



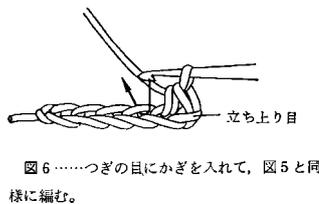
出典：「改訂手芸」、1967年3月1日、添田静枝、山村あい子、大塚寿子、岡野都、市嶋千枝子、黒滝直子、原京子、亀岡末子、多田鶴代、小木曾元子、生田光子著、株式会社建帛社発行、14頁 図4

図7 鎖編手順5



出典：「改訂手芸」、1967年3月1日、添田静枝、山村あい子、大塚寿子、岡野都、市嶋千枝子、黒滝直子、原京子、亀岡末子、多田鶴代、小木曾元子、生田光子著、株式会社建帛社発行、15頁 図5

図8 鎖編手順6



出典：「改訂手芸」、1967年3月1日、添田静枝、山村あい子、大塚寿子、岡野都、市嶋千枝子、黒滝直子、原京子、亀岡末子、多田鶴代、小木曾元子、生田光子著、株式会社建帛社発行、15頁 図6

図9 鎖編手順7



出典：「改訂手芸」、1967年3月1日、添田静枝、山村あい子、大塚寿子、岡野都、市嶋千枝子、黒滝直子、原京子、亀岡末子、多田鶴代、小木曾元子、生田光子著、株式会社建帛社発行、15頁 図  
7

【出典 / 参考資料】

「改訂手芸」、1967年3月1日、添田静枝、山村あい子、大塚寿子、岡野都、市嶋千枝子、黒滝直子、原京子、亀岡末子、多田鶴代、小木曾元子、生田光子著、株式会社建帛社発行

【技術分類】 2 - 1 - 1 編物 / 手編 / かぎ針編

【技術名称】 2 - 1 - 1 - 2 長編

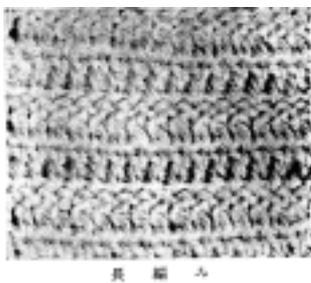
【技術内容】

長編の編地を図1に示す。

長編の編方の手順を以下に示す。図2に示すように、基礎となる鎖を編み、かぎを糸にかけて4つ目に入れ、ループを引き出す。かぎ針にかかった3つのループのうち、かぎに糸をかけて2つ目まで引く(図3)。さらにかぎに糸をかけ、2つを一度に引く(図4)。編み終わりに鎖目3(立ち上がり目)して、編む方向を変える(図5)。前段の編目の鎖を2本ずつ救って編み、最後の立ち上がり目は裏からかぎを入れて編む(図6)。

【図】

図1 長編の編地



長編

出典：「改訂手芸」、1967年3月1日、添田静枝、山村あい子、大塚寿子、岡野都、市嶋千枝子、黒滝直子、原京子、亀岡末子、多田鶴代、小木曾元子、生田光子著、株式会社建帛社発行、21頁 かぎ針編みの編み地 長編み

図2 長編手順1



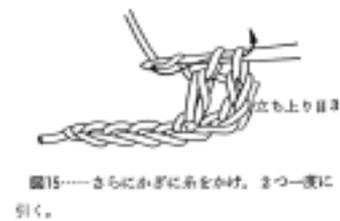
出典：「改訂手芸」、1967年3月1日、添田静枝、山村あい子、大塚寿子、岡野都、市嶋千枝子、黒滝直子、原京子、亀岡末子、多田鶴代、小木曾元子、生田光子著、株式会社建帛社発行、16頁 図13

図3 長編手順2



出典：「改訂手芸」、1967年3月1日、添田静枝、山村あい子、大塚寿子、岡野都、市嶋千枝子、黒滝直子、原京子、亀岡末子、多田鶴代、小木曾元子、生田光子著、株式会社建帛社発行、16頁 図14

図4 長編手順3



出典：「改訂手芸」、1967年3月1日、添田静枝、山村あい子、大塚寿子、岡野都、市嶋千枝子、黒滝直子、原京子、亀岡末子、多田鶴代、小木曾元子、生田光子著、株式会社建帛社発行、16頁 図15

図5 長編手順4



出典：「改訂手芸」、1967年3月1日、添田静枝、山村あい子、大塚寿子、岡野都、市嶋千枝子、黒滝直子、原京子、亀岡末子、多田鶴代、小木曾元子、生田光子著、株式会社建帛社発行、16頁 図16

図6 長編手順5



図17……前段の編み目の鎖を2本ずつくっ  
て編み、最後の立ち上り目は裏からかぎを  
入れて編む。

出典：「改訂手芸」、1967年3月1日、添田静枝、山村あい子、大塚寿子、岡野都、市嶋千枝子、黒滝直子、原京子、亀岡末子、多田鶴代、小木曾元子、生田光子著、株式会社建帛社発行、16頁 図17

【出典 / 参考資料】

「改訂手芸」、1967年3月1日、添田静枝、山村あい子、大塚寿子、岡野都、市嶋千枝子、黒滝直子、原京子、亀岡末子、多田鶴代、小木曾元子、生田光子著、株式会社建帛社発行

【技術分類】 2 - 1 - 1 編物 / 手編 / かぎ針編

【技術名称】 2 - 1 - 1 - 3 こま編

【技術内容】

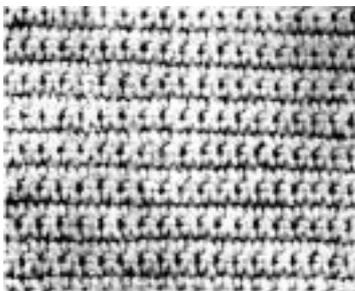
こま編の編地を図 1 に示す。

こま編の編方は図 2 に示すように、基礎となる鎖を編み、2 段目を編む時、前段の編み目の鎖を 2 本すくって編む。

こま編 2 目一度の場合は、立ち上がり目 1、はじめの目と 2 番目の目からループを引き出し、かぎに糸をかけて、ループ 3 つを一度に引く（図 3）。次の目から 1 目ずつこま網を編む（図 4）。

【図】

図 1 こま編の編地



こま編み

出典：「改訂手芸」、1967 年 3 月 1 日、添田静枝、山村あい子、大塚寿子、岡野都、市嶋千枝子、黒滝直子、原京子、亀岡末子、多田鶴代、小木曾元子、生田光子著、株式会社建帛社発行、21 頁 かぎ針編みの編み地 こま編み

図 2 こま編の編み方



こま編み2段め(図8)……2段目を編むとき、前段の編み目の鎖を2本すくって編む。

出典：「改訂手芸」、1967 年 3 月 1 日、添田静枝、山村あい子、大塚寿子、岡野都、市嶋千枝子、黒滝直子、原京子、亀岡末子、多田鶴代、小木曾元子、生田光子著、株式会社建帛社発行、15 頁 図

図3 こま編 2目一度手順1

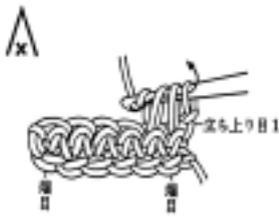


図29

こま編み2目一度(図29)……立ち上り目1。はじめの目とつぎの目からループを引き出し、かぎに糸をかけ、ループ3つ一度に引く。

出典：「改訂手芸」、1967年3月1日、添田静枝、山村あい子、大塚寿子、岡野都、市嶋千枝子、黒滝直子、原京子、亀岡末子、多田鶴代、小木曾元子、生田光子著、株式会社建帛社発行、18頁 図29

図4 こま編 2目一度手順2

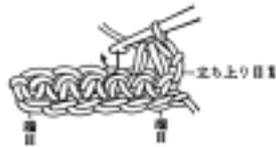


図30

図30……つぎの目から1目ずつこま編みを編む。2目一度の方法は、編み地に模様を打つとき、また、減らし目のときに用いる。左端で減らすときも図29の方法を使う。

出典：「改訂手芸」、1967年3月1日、添田静枝、山村あい子、大塚寿子、岡野都、市嶋千枝子、黒滝直子、原京子、亀岡末子、多田鶴代、小木曾元子、生田光子著、株式会社建帛社発行、18頁 図30

【出典 / 参考資料】

「改訂手芸」、1967年3月1日、添田静枝、山村あい子、大塚寿子、岡野都、市嶋千枝子、黒滝直子、原京子、亀岡末子、多田鶴代、小木曾元子、生田光子著、株式会社建帛社発行

【技術分類】 2 - 1 - 1 編物 / 手編 / かぎ針編

【技術名称】 2 - 1 - 1 - 4 中長編

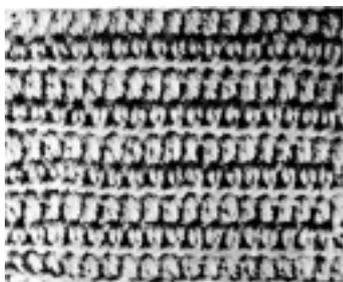
【技術内容】

中長編の編地を図 1 に示す。

中長編の編み方の手順を図で説明する。まず、図 2 に示すように、基礎となる鎖を編み、かぎに糸をかけて 3 つ目に入れ、ループを引き出す。かぎ針にかかった 3 つのループをかぎに糸をかけて一度に引き抜く(図 3)。編み終わりに鎖目 2(立ち上がり目)して、編む方向を変えて、次の段を編む(図 4)。

【図】

図 1 中長編の編地



中長編み

出典：「改訂手芸」、1967年3月1日、添田静枝、山村あい子、大塚寿子、岡野都、市嶋千枝子、黒滝直子、原京子、亀岡末子、多田鶴代、小木曾元子、生田光子著、株式会社建帛社発行、21頁 かぎ針編みの編み地 中長編み

図 2 中長編の編み方手順 1



中長編み(図10) ……基礎となる鎖目を編み、かぎに糸をかけて3つ目に入れ、ループを引き出す。

出典：「改訂手芸」、1967年3月1日、添田静枝、山村あい子、大塚寿子、岡野都、市嶋千枝子、黒滝直子、原京子、亀岡末子、多田鶴代、小木曾元子、生田光子著、株式会社建帛社発行、15頁 図

10

図3 中長編の編み方手順 2



出典：「改訂手芸」、1967年3月1日、添田静枝、山村あい子、大塚寿子、岡野都、市嶋千枝子、黒滝直子、原京子、亀岡末子、多田鶴代、小木曾元子、生田光子著、株式会社建帛社発行、15頁 図11

図4 中長編の編み方手順 3



出典：「改訂手芸」、1967年3月1日、添田静枝、山村あい子、大塚寿子、岡野都、市嶋千枝子、黒滝直子、原京子、亀岡末子、多田鶴代、小木曾元子、生田光子著、株式会社建帛社発行、15頁 図12

【出典 / 参考資料】

「改訂手芸」、1967年3月1日、添田静枝、山村あい子、大塚寿子、岡野都、市嶋千枝子、黒滝直子、原京子、亀岡末子、多田鶴代、小木曾元子、生田光子著、株式会社建帛社発行

【技術分類】 2 - 1 - 1 編物 / 手編 / かぎ針編

【技術名称】 2 - 1 - 1 - 5 引き上げ編

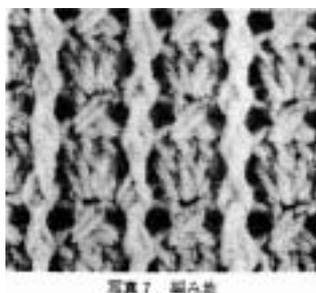
【技術内容】

引き上げ編の編地を図 1 に示す。

引き上げ編には表引き上げ編と裏引き上げ編がある。表引き上げ編を図で示す。図 2 は長編み目の引き上げ編で、引き上げる位置（4つめ）で前段の長編み目の間にかぎを入れ、手前にすくって長編を編む（図 3）。裏引き上げ編は前段の長編目を、表引き上げ編の要領で向こう側からすくって長編目を編む（図 4）。引き上げ目 1、を裏側からすくって編んだ編目を図 5 に示す。

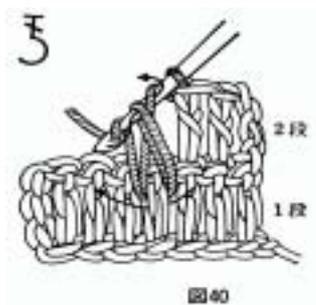
【図】

図 1 引き上げ編の編地



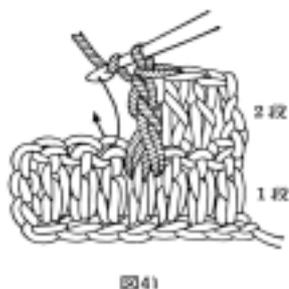
出典：「改訂手芸」、1967年3月1日、添田静枝、山村あい子、大塚寿子、岡野都、市嶋千枝子、黒滝直子、原京子、亀岡末子、多田鶴代、小木曾元子、生田光子著、株式会社建帛社発行、25頁 写真7 編み地

図 2 表引き上げ編の編み方手順 1



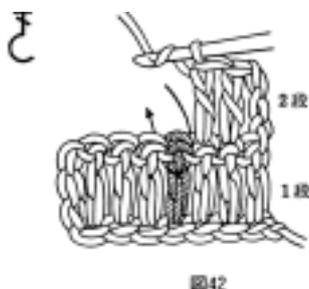
出典：「改訂手芸」、1967年3月1日、添田静枝、山村あい子、大塚寿子、岡野都、市嶋千枝子、黒滝直子、原京子、亀岡末子、多田鶴代、小木曾元子、生田光子著、株式会社建帛社発行、20頁 図40

図 3 引き上げ編の編み方手順 2



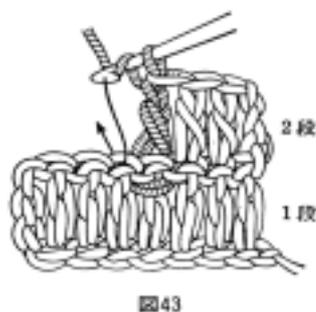
出典：「改訂手芸」、1967年3月1日、添田静枝、山村あい子、大塚寿子、岡野都、市嶋千枝子、黒滝直子、原京子、亀岡末子、多田鶴代、小木曾元子、生田光子著、株式会社建帛社発行、20頁 図41

図4 裏引き上げ編の編み方手順1



出典：「改訂手芸」、1967年3月1日、添田静枝、山村あい子、大塚寿子、岡野都、市嶋千枝子、黒滝直子、原京子、亀岡末子、多田鶴代、小木曾元子、生田光子著、株式会社建帛社発行、20頁 図42

図5 裏引き上げ編の編み方手順2



出典：「改訂手芸」、1967年3月1日、添田静枝、山村あい子、大塚寿子、岡野都、市嶋千枝子、黒滝直子、原京子、亀岡末子、多田鶴代、小木曾元子、生田光子著、株式会社建帛社発行、20頁 図43

【出典 / 参考資料】

「改訂手芸」、1967年3月1日、添田静枝、山村あい子、大塚寿子、岡野都、市嶋千枝子、黒滝直子、原京子、亀岡末子、多田鶴代、小木曾元子、生田光子著、株式会社建帛社発行